

# 苫小牧市立大成小学校 改築基本計画（案）

---

## はじめに

苫小牧市立大成小学校は、矢代町付近の人口増加に伴い、昭和35年に苫小牧西小学校から分離する形で開校しました。

昭和48年には1428名45学級を擁する市内最大のマンモス校となり、児童数の増加に伴って、昭和40年、44年、47年に順次増築を行い、昭和50年に糸井小学校との分離を迎えたのち、今日創立から63年を迎えます。

昭和61年には大規模な改修を実施していますが、そこから更に40年近くが経過しています。その間も部分的な改修を行ってききましたが、施設の老朽化が著しいことから、児童の安全の確保や学習環境の向上を図るために改築を行うこととしました。今のグラウンドの場所に新しい校舎を建築し、移転が終わりましたら現在の校舎を解体します。

現在、改築に向けた基本設計を行っており、令和6年度には実施設計を行います。令和7年度に着工し、令和8年度の3学期から新しい校舎の利用を開始する予定です。

## 大成小学校の概要（1）

### 1 大成小学校の現状

〈現在の規模〉（令和5年5月1日現在）

在籍児童数	289人
普通学級数	11学級
特別支援学級数	4学級

### 2 児童数の推移

〈児童数と普通学級数の推移・推計〉（令和5年5月1日現在）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
児童数	374	338	304	289	271	258	237
学級数	12	12	11	11	11	11	10

## 大成小学校の概要（2）

### 3 敷地・建物の概要

#### （1）所在地

苫小牧市大成町2丁目3番2号

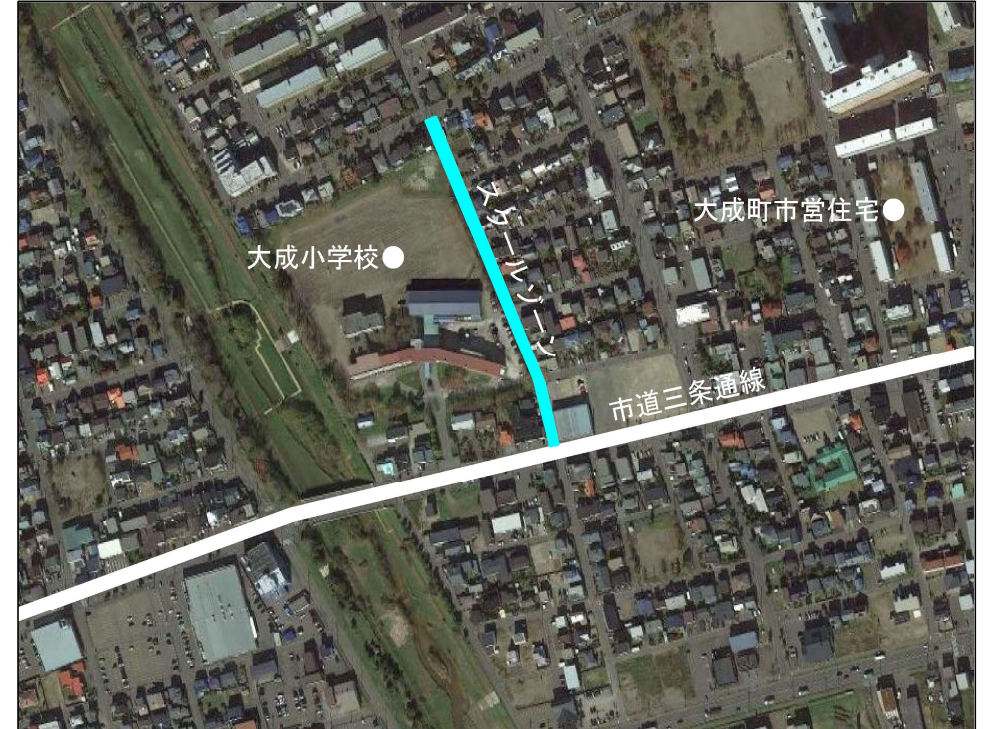
#### （2）敷地の概要

建物面積	15,190㎡
運動場用地	17,375㎡
その他	762㎡
合計	33,327㎡

#### （3）施設の概要〈面積（最も古い棟の建築年）〉

校舎	5,924㎡（昭和35年）
屋内運動場	1,200㎡（昭和35年）

#### （4）学校周辺の現況



## 改築の基本的な考え方

### (1) 多様な学習形態や児童の交流を推進する施設

普通教室や特別教室の整備のほか、少人数指導や児童・保護者の交流などに利用可能な多目的室の整備を拡充します。

加えて、各フロアの中央に広々とした空間を整備し、児童の交流を推進します。

また、教育活動のICT化に対応するため、全ての教室にネットワーク環境を整えます。

### (2) 児童と教員が安全・安心に過ごせる施設

児童や教職員は、一日の大半を学校で過ごすことになります。

快適な時間を過ごすことができる場所となるよう配慮します。

事故の防止や防犯の観点から、職員室は登下校やグラウンドの様子を見守ることのできる配置とし、昇降口にはオートロック・防犯カメラを整備します。

また、熱中症対策や学習環境の快適性向上のため、校舎・屋内運動場の両方にエアコンを設置します。

### (3) 公共施設としての機能の強化

学校は、児童の学習の場であることはもちろん、地域住民との交流や避難施設としての利用など、地域で最も身近な公共施設でもあります。

そのため、バリアフリー化の実施や、学校開放の際に利用しやすいよう配置を考慮します。

また、災害時にも利用可能な再生可能エネルギーの導入に加え、浸水を想定し、主要設備を上層に設けるなど、避難施設としての機能の強化を図ります。

### (4) 施設の省エネルギー化

近年、学校施設では、ICT機器の導入や、夜間における学校開放の推進などさまざまな要因により、消費されるエネルギー量が増加傾向にあります。

大成小学校では、学校の形状を工夫したり、高効率な設備を導入することなどにより、施設の省エネルギー化を図ります。

## 計画概要・配慮事項

### 1 計画概要

敷地面積	33,327 m <sup>2</sup>
用途地域	第1種中高層住居専用地域（一部第2種住居地域）
防火地域	指定なし（ただし建築基準法第22条による指定地域）
施設用途	小学校
構造・階数	鉄筋コンクリート造 3階建て
延べ面積	6,094.19 m <sup>2</sup>

### 2 配慮事項

#### (1) 校舎

- ①日照・風通しを考慮した配置とします。
- ②バリアフリーに配慮した設計とします。
- ③動線を意識したコンパクトな設計とします。
- ④防犯対策のため、オートロックドア・防犯カメラを設置します。
- ⑤特別教室を含む全ての教室にネットワーク環境を整備します。
- ⑥近隣への騒音等に配慮した構造・配置とします

#### (2) 体育館

- ①近隣への騒音に配慮した構造・配置とします。
- ②学校行事などの動線を考慮した配置とします。
- ③学校開放の利便性を考慮した設計とします。

#### (3) グラウンド・外構

- ①200mトラックを配置可能な面積を整備します。
- ②サッカーコートと野球場を重複させずに配置可能な面積を整備します。
- ③良好な水はけを確保します。
- ④緑の基本計画に基づき緑地を整備します。
- ⑤近隣への落葉や倒木の危険性を考慮した設計とします。
- ⑥校舎・屋内運動場へのアクセスを考慮した駐車場の配置とします。

## 1 ゼロカーボンシティ宣言

苫小牧市では、地球温暖化対策の推進に向けた決意として「2050 ゼロカーボンシティ」への挑戦を宣言しています。

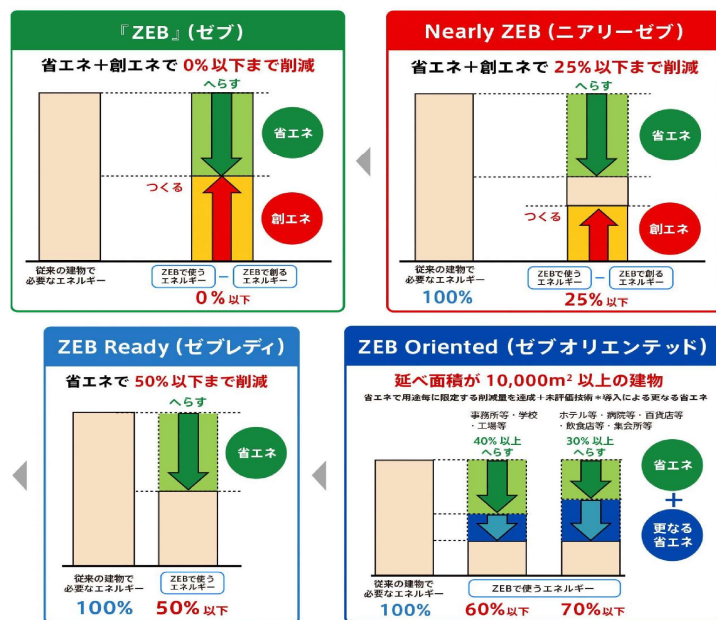
ゼロカーボンシティ実現に向けた具体的な取り組みのひとつとして「第4期 苫小牧市役所エコオフィスプラン」の中で、今後の新築建築物について原則 ZEB Oriented 相当を目指し、令和12年度（2030年度）までに、新築建築物の平均で ZEB Ready 相当となることを目指しています。

## 2 ZEB とは

ZEBとは「Net Zero Energy Building（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）」の略称で「ゼブ」と呼びます。

建物で消費する年間のエネルギーの収支をゼロとすることを旨とした建物のことです。

建物のエネルギー消費量を完全にゼロにすることはできないため、省エネによって使うエネルギーを減らし、創エネによって、消費されるエネルギーを賄うことで、エネルギー消費量を正味でゼロとすることを旨とするものです。



## 3 大成小学校の省エネルギー化に向けた実施内容

### ■屋内運動場の内包化

屋内運動場を内包化することにより、外皮面積を減らすことでエネルギー損失の低減を図ります。

### ■外皮性能の向上

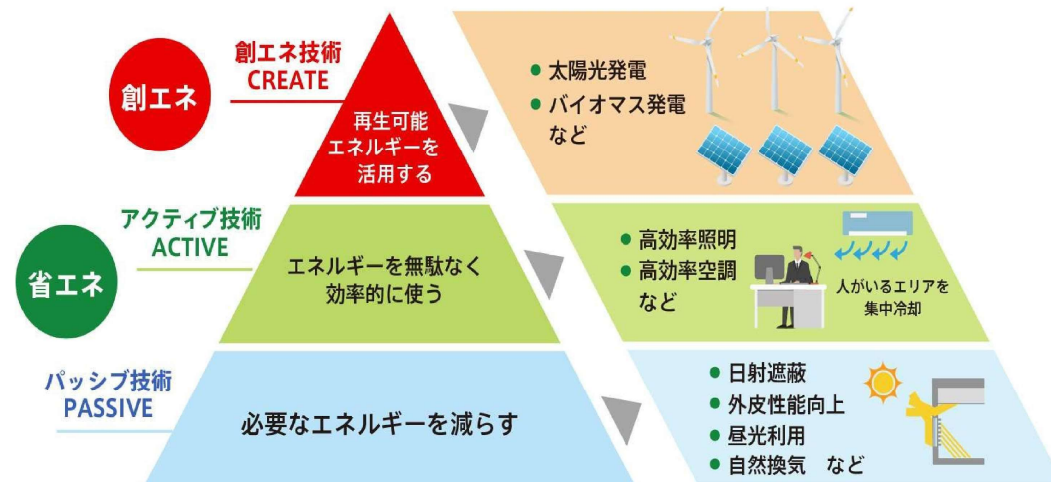
屋根・壁などの断熱性能を向上させることで熱の出入りを抑制し、室内温度を快適に保つために必要なエネルギー量の低減を図ります。

### ■高効率空調設備の導入

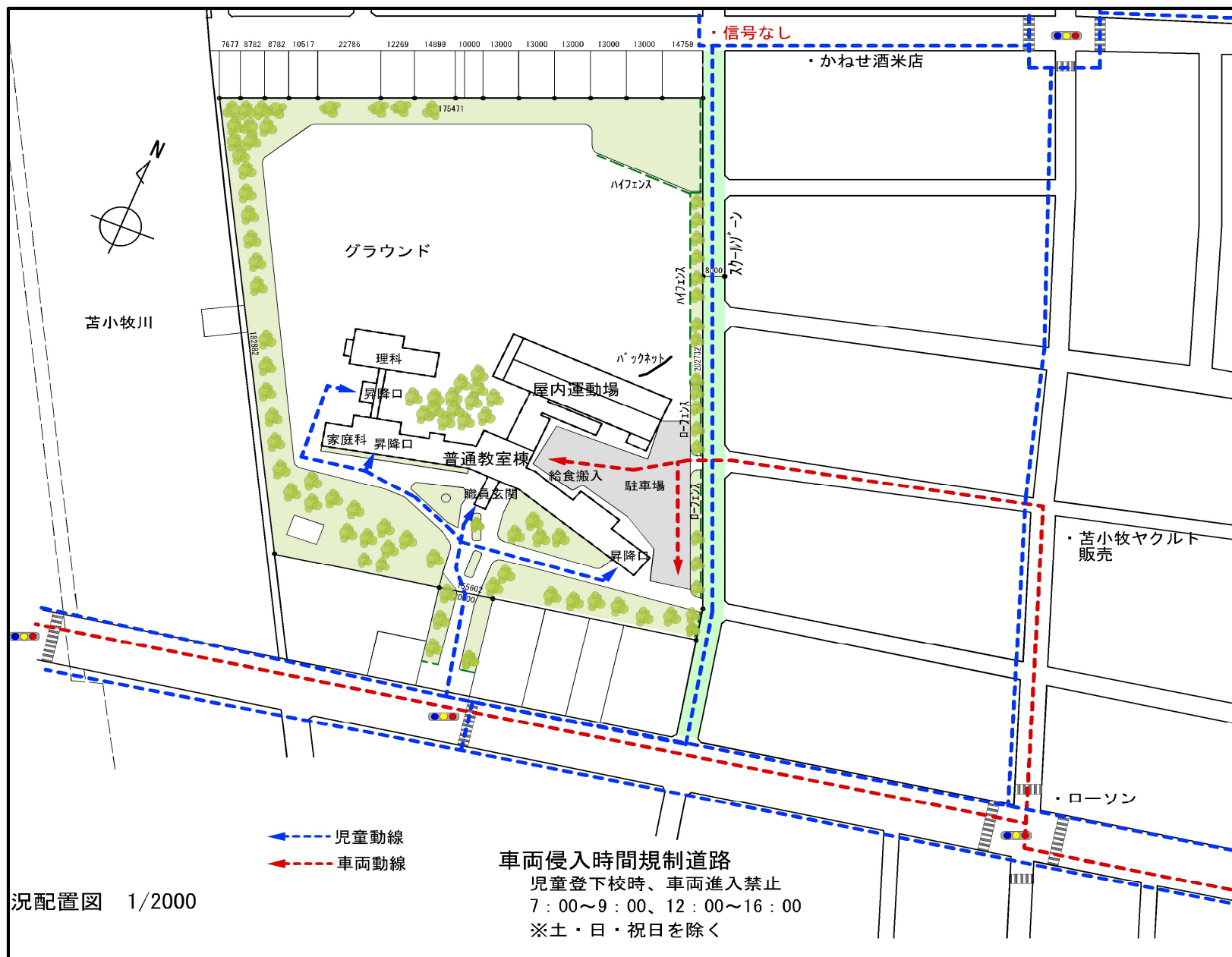
屋内運動場の内包化、外皮性能の向上などにより、冷暖房の負荷を抑制したうえで、高効率空調・換気システムを導入することで省エネルギー化を図ります。

### ■再生可能エネルギー設備の導入

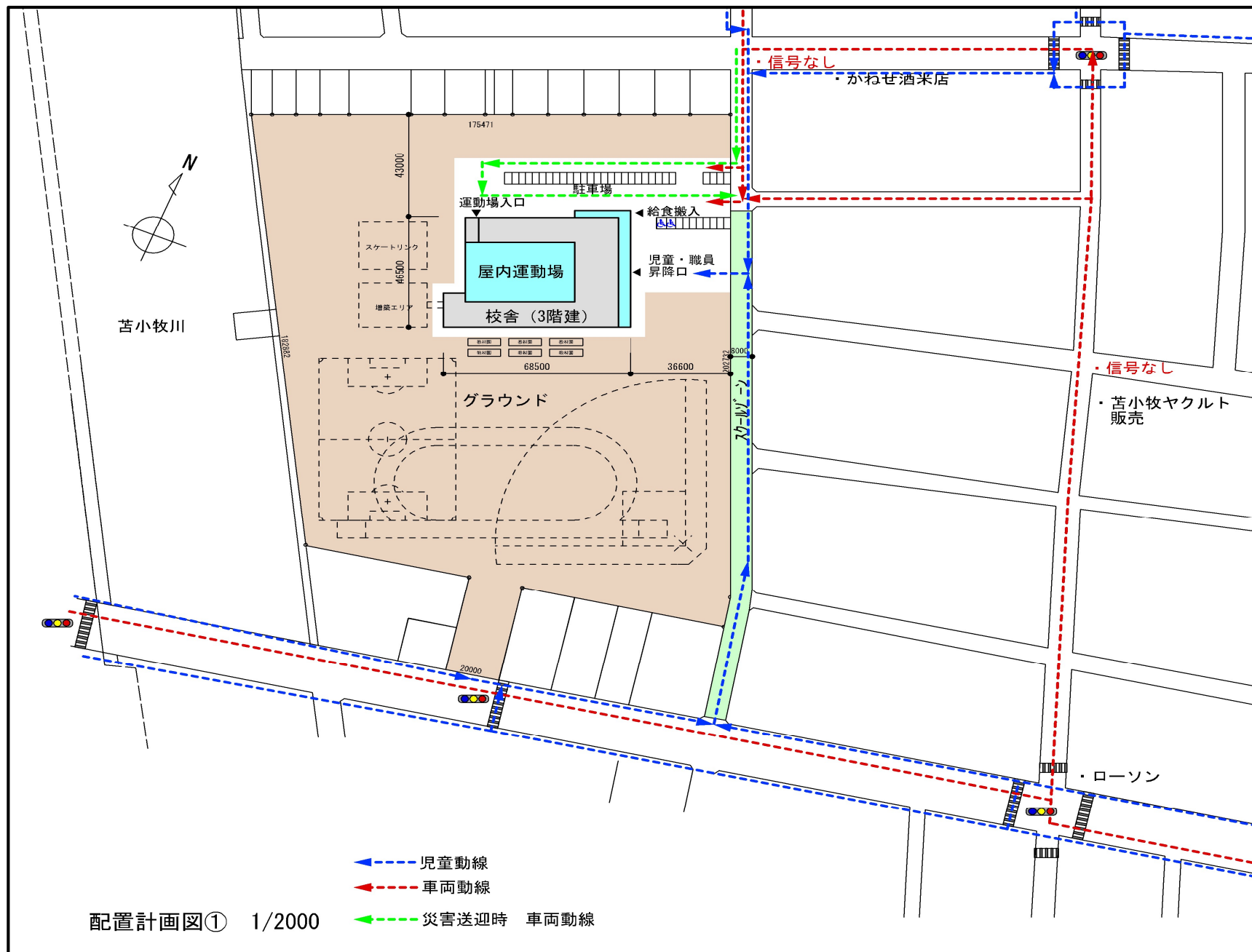
建物の省エネルギー化と併せて太陽光発電設備を導入することにより、環境負荷低減の効果をより一層高めます。



# 現況配置図

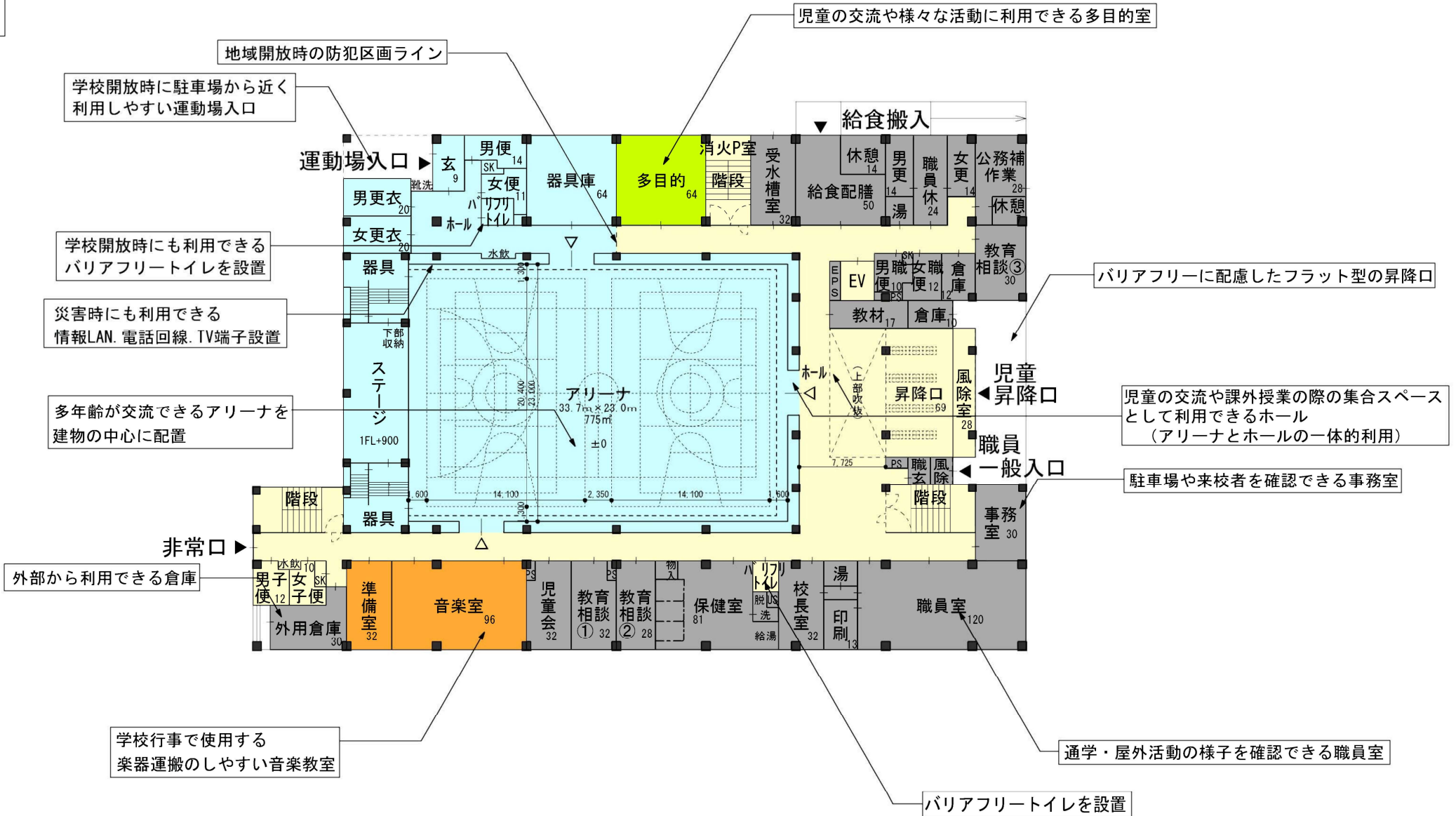


# 配置計画図



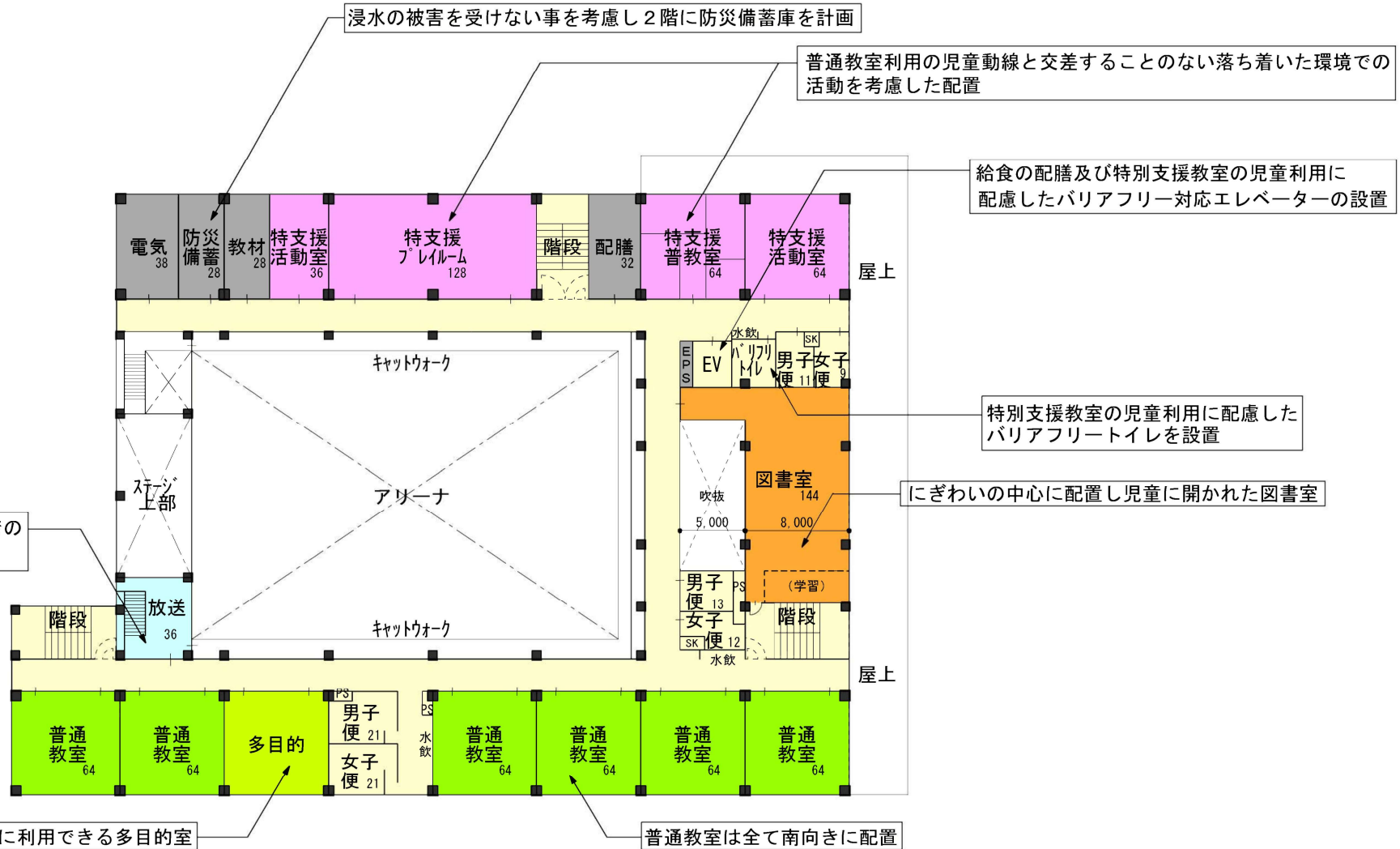
# 平面計画

## 1階



# 平面計画

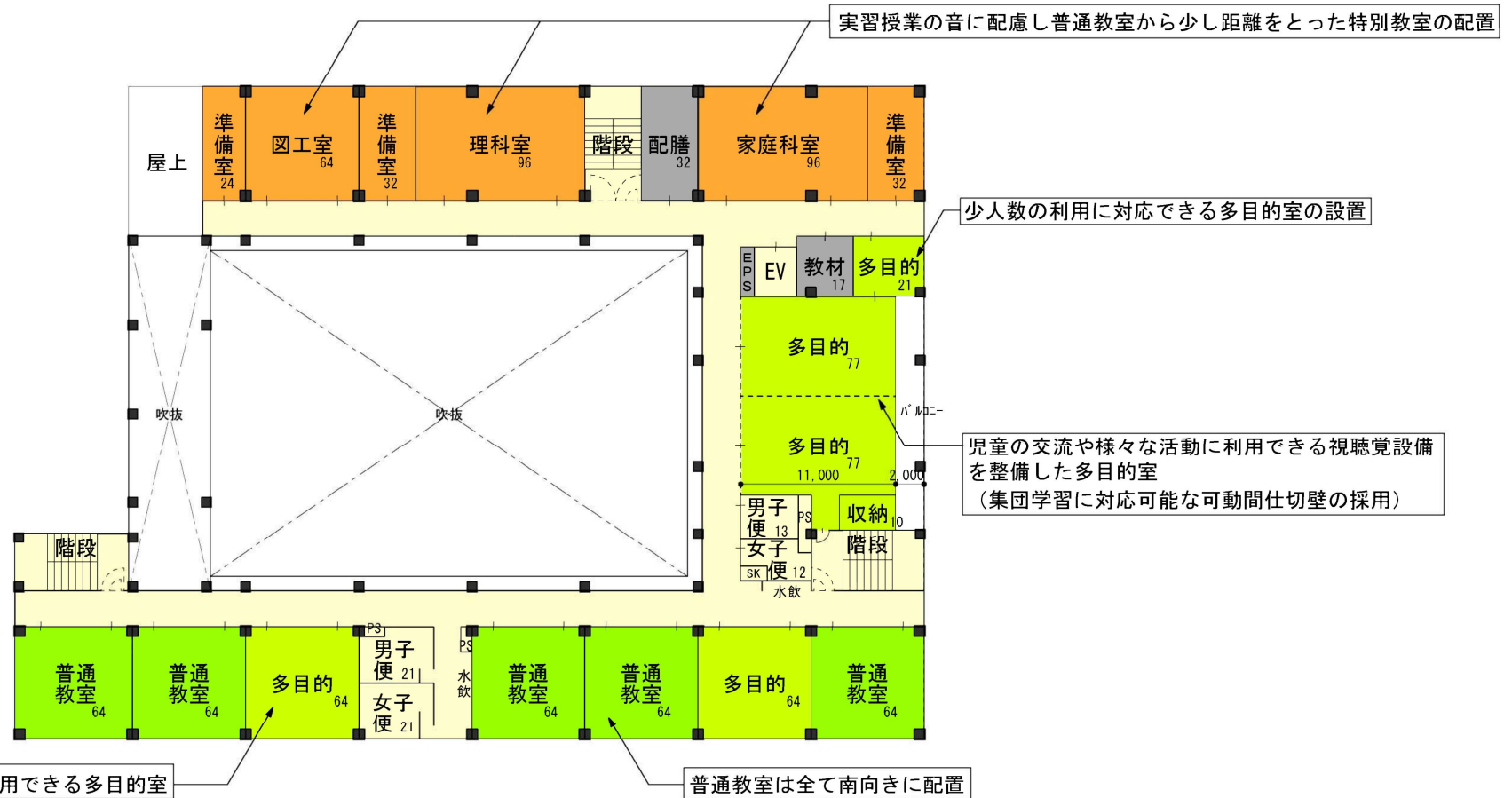
2階





# 平面計画

## 3階



# 外観イメージ図

